

「苦しい時こそ」!



「南教の風だより」休眠中であった2月が過ぎ去り、あっという間に3月を迎えました。

その間に、文部科学省から新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業について通知があり、同日、県教育委員会からも、臨時休業の措置を取るよう方針が示されました。

南予においては、西日本豪雨災害から学んだことは、人の絆の強さであり、大切さです。愛媛県知事の会見にもありましたように、ウイルスを過度に恐れ、地域で共に生きる方々を攻撃・排除したり、傷つけたりするのではなく、むしろ**今こそ他人を思いやり、皆で手を取り合って**、この不安と危機に対処していくことが大切です。

先が見えない部分が多々ありますが、こういう時こそ、子どもに関わる者一人一人が知恵を絞り、よりよい対応を探りながら4月からの教育活動がこれまで以上に充実したものとなるよう準備を進めてまいりましょう。

① 基本的な感染予防対策

- ・「咳エチケット」、「手洗い」
- ・一人一人の体調管理
- ・換気が悪く、人が密に集まる空間や、不特定多数が集まるような場所を避けること

② 正しい情報に基づく行動

- ・37.5度以上の発熱が4日以上続くなどの症状のある場合には、帰国者・接触者相談センターに相談すること
- ・物資不足等の根拠のない情報に基づく行動はしないこと
- ・県の情報に基づき冷静に落ち着いて行動すること

③ 高齢者施設や医療機関への訪問・面会の自粛

- ・重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方の感染を防ぐため、高齢者施設や医療機関への訪問及び面会を自粛すること

④ イベントの中止・延期等

- ・多数の方が集まるイベントを中止、延期又は規模を縮小すること
- ・イベントを開催する場合にも、風通しの悪い空間を作らないこと

※ 【県民の皆様への呼び掛け】知事記者会見より3月6日（金）

人々が大きな不安を抱いている中であって、皆が手を取り合って不安や危機に立ち向かっていこうとする機運の醸成が求められています。その先頭に立つ役目を担っている私たち教職員は、預かっている子どもを守る、地域を守る、特に、学校を支えてくださっている人の輪を守る使命を負っています。

このような時期に教職員が一致団結して取り組む姿が、子どもや地域を勇気付ける原動力になります。

【 綱紀の保持及び服務規律の徹底について（通知） 】

- 社会全体が置かれている状況を十分に認識し、教職員としての品位を傷つけ、社会的信用を失墜することのないように、服務規律の厳正な遵守に努める。わいせつ行為やセクシュアル・ハラスメント、金銭問題、男女問題、交通事故・違反、体罰等の非違行為の未然防止を徹底すること。
- あらゆる機会を活用して、非正規採用者を含む全ての教職員に服務規律の厳正な遵守を周知徹底するとともに、学校への所属感の高揚を図り、教育に携わる者としての倫理観・使命感・責任感を確固たるものとする。
- 不祥事の結果、本人が社会的、経済的に制裁を受けるのはもちろん、家族にまで影響を及ぼし、生活を破綻させるといった事態を招いてしまうこと、何よりも、児童生徒に大きな影響を与え、本県教育への県民からの信頼を大きく損ない、以後の教育活動に支障を生じさせかねないことなど、多大な影響を及ぼすことを十分認識し、所属する全ての教職員一人ひとりの意識の向上を図り、教育公務員としての誇りを持って、自己の職責を全うすること。

令和2年3月5日、教職員課長より「不祥事の根絶」について、綱紀の保持及び服務規律の徹底について市町教育委員会に通知を出させていただきました。

連続して発生した不祥事の件を、教育に携わる全ての者が重く受け止め、一日も早く信頼を回復できるよう、服務規律の厳正な遵守に教職員が一丸となって取り組む必要があります。すでに校長先生より教職員へ指導を行っているものと思います。至急の対応はありがたいことです。大切なことは、その指導が教職員の意識や行動にしっかりと届いているかどうかです。

教職員一人一人が、意識を高め、教育公務員としての自覚ある言動に努めることで、県民からの信頼を今後更に高めていただきますようお願いします。

さて、3月に入り、人事業務もいよいよ大詰めです。それに加えて、任用手続きも進めていきます。期限付教職員や新規採用教職員の面接や採用手続き、非常勤職員の採用も行っていきます。来年度へ向けて、着々と準備は整っております。

明るい未来に向けて、準備を進めていきましょう。

